

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活環境論 (インテリア論を含む) life environmental plan		2年	前期	水曜日・1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
高齢者に対する支援と介護保険制度				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特に無し				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
荘司 由利恵	非常勤講師 室	授業内で指示する。		授業中に指示します
授業の概要				
現代社会において、環境汚染・シックハウス症候等、様々な環境問題が起きている。介護保険制度や「住宅の品質確保に関する法律」が2000年に制定され、住宅に関連する施策に重点がおかれ、ノーマライゼーションのもと障害者や高齢者の誰でも使用しやすいユニバーサルデザインを学習する。				
授業の到達目標				
障害者や高齢者の社会を生活環境の視点から支える「福祉住環境コーディネーター」3級資格取得を目指し、合格することができるようにする。「福祉住環境コーディネーター」は佐野短期大学にて学習する授業科目の総合である。生涯にわたる生活の基盤となることができるようにする。				
授業の方法				
テキスト「福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト」本にそって、住環境のポイント説明を行い、テキスト本は熟読する。7月開催の「福祉住環境コーディネーター」3級検定試験の受験を必須とする。既に3級資格保持者は2級検定受験を必須とする。毎授業最後に小テストを行う。定期試験は行わない。				
学習の成果				
障害を持って、高齢になっても住みながら「自分らしい暮らし」のサポートする専門職が「福祉住環境コーディネーター」です。専門職としての知識と経験と広い視野から相談者も気がついていないニーズまで含めて住宅という側面から問題を発見し、具体的な解決方法を提案することができますようにします。「福祉住環境コーディネーター」の活動の場としてしてバリアフリー住宅の設計・施行、リフォーム事業、福祉用具や介護用品の販売・商品開発事業、施設経営、福祉関係事業、行政、病院、施設などでの相談業務、ボランティア活動など様々な分野が考えられます。活躍の場が、今後さらに広がっていくことができるようになります。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス。ガイダンス終了後授業開始：テキスト本「少子高齢社会と共生社会への道」 小テスト			
第2回目	「福祉住環境整備の重要性・必要性」 「在宅生活の維持とケアサービス」 小テスト			
第3回目	「高齢者の健康と自立」 小テスト			
第4回目	「障害者が生活の不自由を克服する道」 「バリアフリーとユニバーサルデザインを考える」 小テスト			
第5回目	「生活を支えるさまざまな用具」 小テスト			
第6回目	「住まいの整備のための基本技術」 小テスト			

第7回目	「生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい」 小テスト		
第8回目	「生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい」 小テスト		
第9回目	「ライフスタイルの多様化と住まい」 「安心できる住生活」 「安心して暮らせるまちづくり」 小テスト		
第10回目	「ライフスタイルの多様化と住まい」 「安心できる住生活」 「安心して暮らせるまちづくり」 小テスト		
第11回目	小試験－1 (テキスト本参照可)		
第12回目	小試験－2 (テキスト本参照可)		
第13回目	小試験－3 (テキスト本参照可)		
第14回目	福祉住環境コーディネーター検定試験 全員受験必須		
第15回目	福祉住環境整備の事例・演習		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度	10%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、授業に臨むことができる。	
レポート			
調査報告書			
小テスト	30%	授業において小テストを行う。学びの振り返りができる。	
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)			
その他	60%	小試験採点：60% 小試験を3回行う。テキスト本参照可である。	
教科書と参考図書			
「福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト」改訂版 東京商工会議所発行			
履修上の心得・ルール			
授業時にはテキスト本を必ず持参のこと。予習・復習をするとともに、テキスト本の熟読をする。授業内容は変更することもある。毎授業最後に小テストを行う。			